

「がんばっぺいわき」

いわき市の学生と大津市で物産展

龍谷大

宗門関係の龍谷大学 7社の商品30種類を販売。完売商品も多く出た。龍谷大学の学生と大津市の学生が、いわき市の物産展に協力している。20日、東日本大震災の復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま

いっぺいわき市」の東日本国際復興物産展「はじめま



あることを知ると、「ぜひ、福島野菜」と買っ

ていく人が多く、滋養

豊民の温かさを感じた

という。

プロジェクトは、「知

人のいるいわき市の復

興支援活動を」と築地

准教授が5月に同市商

工会議所を訪問したこ

とに始まる。そこで東

日本国際大の福迫昌之

教授と出会い、共に活

動することに。

築地准教授の呼びか

けで龍大生6人が活動

に参加。8月には東日

本国際大の学生7人と

共に、いわき市の生産

者を訪ねて交流。その

後、学生らで支援の方

法を話し合い、商品の

販売方法や放射能不安

に対してどのように情

報提供していくかなど

を決め、両大学でそれ

ぞれ準備を進めた。

龍谷大3年の中村勇

貴さんは「現地に行っ

て自分の目で現状を知

りたかった。野菜農家

では、放射能検査をき

今回の商品すべてに

放射能検査の証明を得

ていたが、「放射能に

対する突っ込んだ質

問」に答えるため、学

生らは検査結果一覧表

などを準備。「でも、

安全を示すシールや説

明を聞くと快く買って

くれる人が多かった」

と胸をなでおろした。

同プロジェクトは、

放射能の風評被害に打

ち勝つことと、地元業

者の下請け体質の脱却

を目標に中長期的にマ

ーケティングを行って

いくという。築地准教

授は「この活動で生ま

れた両大学の学生のつ

なかりを後輩にもつな

げていき、物産展に限

定せずに学生たちの知

恵を生かした復興支援

を続けていけたら」と

思いを語った。

であるにもかかわら